

令和2(2020)年度6月8日

男子バスケットボール部
保護者各位

顧問 治田 一人
加藤 勉

部活動再開にあたって(ご案内)

向夏の候、国難ともいえるコロナ騒動の中、お変わりなくお過ごしでしょうか。誰も、1日も早く日常に戻る事を願って止まない状況が続いております。

さて、6月1日より学校が再開しました。分散登校・時間短縮・教室移動等、平常には程遠いところではありますが、学校に通う意義を感じる生徒の様子が窺えます。バスケットボール部員も部活動開始を心待ちにしていると思います。札幌市では、15日より部活動再開可能との連絡が来ておりますが、体力面や通知を下に、下記1の要領で段階的に再開する予定です。(※2以降は通知や留意事項です。お時間に余裕がある際お読み下さい。)

参加に了承していただけたら、同意書の提出をお願いいたします。また、例年4月末に開催している保護者会は、今年度については資料の配布をもってそれにかえさせていただく予定です。その他、ご意見ご質問があれば治田までご連絡下さい。

1 計画

レベル	チーム活動	トレーニング内容	めやす期間	備考
STEP1	禁止	個人での体カトレーニング 体育館・屋外	6/15～ 1週間程度	消毒を各自で行う
STEP2	5～10名の グループ活動	上記に加え、非対人・接触のボールを 使用した練習	上記から 1週間程度	消毒、ソーシャルディスタンス確保
STEP3	10～15名 程度	非対人・接触のボールを使用した練習	上記から 1週間程度	消毒、ソーシャルディスタンス確保
STEP4	通常	通常	上記から 2週間程度	社会状況による

----- き り と り -----

部活動への参加保護者同意書

6月15日(月)からの部活動について

顧問の指導の下、部活動に参加することを認めます。

男子バスケットボール部

2020年6月 日

()年()組 生徒氏名()

保護者氏名()

2 各種通知をまとめたもの

(1)はじめに

活動再開が選手、選手の家族、関係者、地域社会における感染拡大につながらないこと。COVID-19に感染することで多くの方に影響を与えてしまうことや、無症状であっても自らが他人に感染させ得ることを厳しく認識すべきと考えます。

また、COVID-19感染防止に関わらず、バスケットボールには激しい身体接触があり重症事故につながる可能性がある競技であることを選手、指導者、全ての関係者が十分に認識し、あらゆる面において安全な環境においてプレーすることをより一層重視してほしいと考えます。なお、本ガイドラインは現段階で得られる知見に基づき作成しております。そのため、今後の関係省庁のガイドラインや各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあることにご留意願います。

(2)活動の再開

活動再開にあたっては、チーム所在地の都道府県、市町村の方針に従うことが大前提であり、学校部活動の場合、学校の方針に従ってください。なお、コンタクトプレーを伴う活動は、当面の間禁止とします。特定警戒都道府県は外出自粛要請等に応じ、チームでのトレーニングは自粛し、個人でのトレーニングを行ってください

(3) トレーニング実施時の感染防止策について

COVID-19は発症する2日前の方や症状のない方からも感染する可能性があります。トレーニング以外の生活の中で感染しないために、換気の悪い密閉空間、多くの人が密集している密集場所、近い距離での会話や発声が行われる密接場面、これらのいわゆる三つの密を回避するとともに、身体的距離の確保やマスクの着用、手指衛生などの基本的な感染対策を継続し、COVID-19を想定した「新しい生活様式」を積極的に取り入れてください。

【トレーニング前】

- ①チームとして感染防止対策を確立し、トレーニング再開に関する理解を深めることを推奨します。
- ②以下の事項に該当する場合は、トレーニングへの参加の見合わせ、参加させないことを周知徹底してください。
 - >体調が良くない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - >同居家族や身近な知人に感染症が疑われている方がいる場合
 - >過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③毎朝の体温測定、健康チェックを行ってください。
- ④ミーティングはデジタルまたは屋外で行う必要があります。難しい場合は、1人当たり4㎡のスペースを確保できる屋内で、すべてのプレーヤーとスタッフができる限りマスクを着用した状態で行ってください。
- ⑤移動は自動車の相乗りを避け、公共交通機関を利用する場合は混雑を避け、徒歩や自転車での移動を併用してください。
- ⑥移動が越県になる場合は、チーム所在地及び居住地の都道府県、市町村の方針に従ってください。
- ⑦COVID-19が発生した場合は、選手及び関係者は必ずチームへ速やかに報告してください。
- ⑧トレーニング当日には、自宅及び集合時に検温を行ってください。
- ⑨感染経路の追跡を行うため、個人情報の扱いに十分注意しながら、日付、場所、参加者情報（氏名、電話番号、メールアドレス）は記録してください。また、必要に応じて保護者の情報も記録してください。
- ⑩目、鼻、口を触らないように心掛け、どうしても触るときには手洗いや手指消毒をした後に触るようにしてください。

【トレーニング時】

- ①トレーニング中、トレーニングしていない間も含め、最低でも2メートルの距離を人と人との間で保ってください。1名当たり4㎡のスペースを確保してください。
- ②人と人との挨拶や体に触れること（握手や抱擁）は積極的に回避してください。
- ③マスクを着用してください。但し、トレーニング中の選手のマスクの着用は選手の判断によるものとします。
*マスク着用により十分な呼吸ができないことによる身体への影響の可能性があることや熱中症などには留意してください。
- ④こまめな手洗い、アルコール手指消毒薬等による手指消毒を実施してください。また、チームで手指消毒剤を準備してください。
- ⑤プレーの説明、消毒、手洗いの際、密集・密接を作らないよう工夫してください。
- ⑥人数ごとにグループを分け、時間をずらしてトレーニングを計画してください。
- ⑦可能な限り、各グループにコーチを割り当て、そのコーチはそのグループだけを監督し、グループ外のメンバーとは距離を保つようにしてください。
- ⑧トレーニング中に唾や痰をはくことは極力避けてください。
- ⑨可能な限り屋外でトレーニングを行ってください。
- ⑩発熱などの症状が確認された選手・関係者は直ちにトレーニングを中断し、隔離等の適切な対応を行うとともに、

必要に応じて保健所や医療機関への相談あるいは受診を促してください。

⑪目、鼻、口を触らないように心掛け、どうしても触るときには手洗いや手指消毒をした後に触るようにしてください。

【周辺環境】

①選手及び関係者が、トレーニング会場でシャワーを浴びたり食事をしたりすることは避けてください。

②可能な限り、トレーニング用具の共有は避ける必要があります。どうしても必要な場合（ジムなど）は、使用するグループが入れ替わる度及びトレーニング前後に環境や器具を0.05%次亜塩素酸ナトリウムあるいは70%以上のアルコールを用いて消毒し、こまめに換気をしてください。

③ウォーターボトル、タオル、ヘッドキャップなどの個人の備品は、分かりやすく区別できるようにして、共用・使いまわしをしないでください。

④栄養補給サプリメントを共用しないでください。

⑤チームは、手洗い場、更衣室／ミーティングスペース、トイレについて、それぞれ確保すると共に以下の点を注意してください。

手洗い場

- ・石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ・手洗いを30秒以上行うよう掲示、もしくは周知をする。
- ・手洗い後に手を拭くための、ペーパータオルを用意するか、もしくは個人のタオルを持参させ、共用タオルを使用しないようにする。

更衣室／ミーティングスペース

- ・「三つの密（密閉、密集、密接）」を避ける。
- ・室内またはスペース内で複数の関係者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については0.05%次亜塩素酸ナトリウムあるいは70%以上のアルコールを用いてこまめに消毒をする。
- ・換気に配慮する。

トイレ

- ・トイレ内の複数の関係者が触れると考えられる場所（ドアノブ等）について0.05%次亜塩素酸ナトリウムあるいは70%以上のアルコールを用いてこまめに消毒をする。
- ・石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ・手洗いを30秒以上行うよう掲示、もしくは周知をする。
- ・手洗い後に手を拭くための、ペーパータオルを用意するか、もしくは個人のタオルを持参させ、共用タオルを使用しないようにする。

⑥ゴミの廃棄について、トレーニング時にでた鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸を用いた30秒以上の手洗い、あるいはアルコール手指消毒薬による手指消毒をしてください。